

「基礎セミナー」スタート

33講座 4年ぶり合同発表会も

令和5年度「基礎セミナー」一覧表

本学の教養教育の目玉「基礎セミナー」が、本年度もスタートしました。開講にあたり、共通教育センターの東谷孝一センター長に寄稿いただきました。



東谷孝一・共通教育センター長

4月12日（水）に今年度の「基礎セミナー」が開講となりました。今年度も昨年と同様、33セミナーが開講されています。

テーマに掲げられていることからは睡眠、アロマ、ユーモア、お茶、グループゲーム、ファッション、発酵食品、コーヒーなど、多岐にわたり、活動の種類も購読・討議のみならず、フィールドワーク、実験、創作もあり、ヴァラエティーに富んでいます。新1年生はワクワク感に満ちた思いで希望のセミナーを選んだことと思います。これもひとえに各学科専攻の先生方のご助力の賜物と深く感謝申し上げます。

「基礎セミナー」は新1年生が最初に学ぶ、学科混成の少人数構成のセミナーです。このセミナーで学生は自ら課題を見出し、自ら解決を探るという大学生としての学習態度を身につけ、他学科、他専攻の仲間と親交を深めます。

コロナ禍における3年間、遠隔授業を強いられるなど、セミナーの活動は様々な制約を受けてきました。今年度は授業形態をコロナ以前の対面形式に戻すことができ、感慨深い思いがいたします。2019年度を最後に休止していた合同発表会も今年は開催予定です。1年生のみなさんの心に深く残る楽しいセミナーになればと願ってやみません。

テーマ	担当教員
睡眠について学び、日課を計画し、実践して、友達に伝えてみよう	安田 大典
昔の遊びを掘り下げてみよう！！	宮本 恵美
臓器移植・再生医療について考える	堀 律子
ノートの取り方徹底研究	向井 良人
自分の元気を自分で作ろう	久松 美佐子
あなたの My Favorite Things は何ですか？	青木 学
旅行計画を立てて、（妄想で）旅をしよう！	水本 豪
歯科疾患について考える	渡邊 敏之
アロマセラピーと健康効果	坂本 淑江
笑い・ユーモアの健康への効果	江上 史子
お茶について調べて、科学してみる	永田 和美
おすすめの健康法を提案しよう！	荒尾 博美
献血について知ろう	登尾 一平
ペーパークラフトで Go to travel 2	正代 清光
どう生きる？人生100年時代 ～ヘルスリテラシーのすゝめ～	坂本 亜里紗
星の一生と超新星爆発	竹永 和典
コンピュータの仕組み	山鹿 敏臣
終末期ケアを考える	渡辺 雄一
グループゲームを作り出す～道具からの創造～	大塚 裕一
ファッションを通して知る世界	田中 恵理
身近に存在する食べられる野草や木の実を探しながらお散歩しよう！	申 敏哲
人生を彩る音楽の力	山本 良平
私の生まれた日	井崎 基博
発酵食品の魅力に迫る	山本 隆敏
自他の「強み」を見つけよう	仙波 梨沙
魯山人を超えていけ！！ 新時代の器をさわめる	立石 多貴子
One Health ～私たちに何ができるか？～	戸渡 洋子
「やさしい日本語」を使ってみよう！	伊吹 唯
みんなちがって、みんないい！ ～多様性について考えてみよう～	松本 佳代
コーヒーを探求する	吉野 拓未
伝える ～CM制作～	原口 実紗
クマホ大ランニングコース・オルレコースをつくってみよう	枝尾 久美
「平和」を学び、「平和」をもたらず人になる	東谷 孝一



2019年に行われた合同発表会。コロナ禍のため、4年ぶりに開催予定です。

各教員が工夫を凝らした33セミナーが用意されています（昨年セミナーより）

細菌学、遺伝子学から健康考える

医薬基盤・健康・栄養研究所 細見 晃司主任研究員が講演

「食・栄養と健康の関わりを細菌学、遺伝子学の視点から考察する」をテーマにした学術講演会が13日（木）、3109M講義室で開かれ、37人が参加しました。

講師で国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所の細見晃司主任研究員は、腸内環境が糖尿病やアレルギーなどの疾患、体型や脳機能などの健康との関わりがあることを説明。難消化性の多糖類（食物繊維など）を摂ることが悪玉菌を減らしたり免疫機能を制御したりすることなどについて話を進めました。

また、細見研究員らが、日本人約9,000人の腸内細菌や食・栄養データを収集したマイクロバイオームデータベースを構築し、独自に開発した解析ツールとともに公開していることを紹介。さらに、山口県での横断研究により、日本人の肥満や糖尿病と逆相関する特定の腸内細菌があることや、機械学習やAIを用いることで食の効果や代謝を個別化・層別化システムで予測できる可能性があることについても触れました。

（リハビリテーション学科理学療法学専攻・久保高明）

学生の範に 成績優秀者21人たたえる

水泳で活躍 坂上さんは学部長表彰

令和4年度の成績優秀者表彰が12日（水）1300L講義室であり、2～4年次生計21人（医学検査6人、看護6人、理学3人、生活3人、言語3人）が竹屋元裕学長から賞状と奨励金を受け取りました。成績優秀者表彰は、成績・人物ともに優秀で、前年度の学業成績平均点が、各学科において特に優秀な学生を選考の対象としています。

成績優秀者表彰後には学部長表彰もあり、看護学科2年の坂上由夏さんが表彰されました。坂上さんは入学後より数多くの競泳大会にエントリーし、昨年7月に開催された第82回九州学生選手権・第69回九州地区国公立大学選手権において、女子背泳100m 2位、同200m 4位と好成績を残しました。その結果、同年8月に開催された日本学生選手権への出場を果たしました。坂上さんは渡辺雄一学部長から賞状と奨励金を受け取りました。（入試・広報課）



竹屋学長らと記念撮影する成績優秀者表彰を受けた学生たち



ボランティアサークルGeneration

大型店で子宮頸がん検診呼びかけ

細胞検査士会による子宮の日（4月9日）にちなんだ子宮頸がん検診啓発活動が9日（日）、菊陽町のゆめタウン光の森店であり、本学学生ボランティアサークルGenerationも参加しました。同団体副部長の小田ひよりさんに報告してもらいました。



今回のキャンペーンには、Generationから2年生2人、3年生2人、4年生9人が参加しました。子宮頸がん検診を啓発するリーフレットとジュースが袋詰めされたものを1200セット用意し、ゆめタウン光の森店にて女性を中心に配布していきました。

4カ所に分かれて配布を行いました。どのグループも和気あいあいとした雰囲気でも活動していきました。1人1人が笑顔で声掛けをし30分ほどでスムーズに渡し終えることができました。はじめは声を掛けても受け取っていただけなかったことも多く心が折れそうになりましたが、徐々に慣れていきました。

私たちのサークルでは、これからも子宮頸がん検診の啓発活動をしていき、検診の受診率が上がるように取り組んでいきたいです。（医学検査学科3年・小田ひより）



買い物客にパンフなどを手渡し、検診を呼びかけるGenerationメンバー